

製品名: GPR41 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11684**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	FFAR3
別名	FFAR3; GPR41; Free fatty acid receptor 3; G-protein coupled receptor 41
遺伝子 ID	2865.0
SwissProt ID	O14843
免疫原	抗血清はヒト FFAR3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

背景

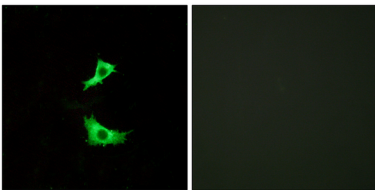
機能: G(i)タンパク質を介したアデニル酸シクラーゼ阻害および細胞内カルシウム濃度上昇を介して、短鎖脂肪酸の受容体となる。この受容体のアゴニストの効力は、プロピオン酸 = ペンタノ酸 = 酪酸 > 酢酸 > ギ酸の順である。類似性: G タンパク質共役受容体 1

ファミリーに属する。、組織特異性: 脂肪組織で最も高い発現レベルを示すが、試験したすべての組織では低い。、機能: G(i)タンパク質を介したアデニル酸シクラーゼ阻害および細胞内カルシウム濃度上昇を介して、短鎖脂肪酸の受容体となる。この受容体のアゴニストの効力は、プロピオン酸 = ペンタノ酸 = 酪酸 > 酢酸 > ギ酸の順である。、類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属する。、組織特異性: 脂肪組織で最も高い発現レベルを示すが、試験したすべての組織では低い。、

研究分野

-

画像データ



FFAR3抗体を用いたLOVO細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。